

者の施設入所を困難にするものではないのか。

町として、保険料、利用料の減免制度を実施すべきではないか。

答 今回の改正は給付の効率化と重点化を進め、制度全体を予防重視型のシステムに転換するものだ。

現状の給付動向では公費と保険料で賄っている介護保険制度の維持は困難となる。給付の削減は避けて通れない。

地域包括支援センターには保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーを配置しなければならぬ。直営で1カ所設置する。

低所得者対策があるもので、施設入所が必要な低所得者が入所できなくなることは想定していない。

介護保険制度の中で減免の対策が講じられているので、町として実施する考えはない。

トピックス

秋空のもと 議長杯ゲート大会を開催

10月1日、日高川町発足後初めての第1回日高川町議会議長杯ゲートボール大会を美山若者広場で開催しました。

秋晴れの好天気恵まれ、町内各地から参加の23チームに加え議会3チームも参加し、161人により、熱戦がくり広げられました。

緊張した試合の中でもなごやかな会話や歓声が飛びかい、楽しいゲートボール大会となりました。

第1回大会優勝の栄にがやいたのは、美山地区・笠松チームでした。

準優勝は川辺地区・江川チーム、第3位は、美山地区・リバイティとなりました。

大会運営にご協力頂いた日高川町ゲートボール協会の関係者皆さんに厚くお礼申し上げます。

次回大会の優勝を目指し、各チームはみやまの里を後にしました。

優勝した笠松チームのみなさん



東西南北

秋の味覚「栗」が産品販売所に顔を寄せ、郡内や都会からのお客様が「ふるさと」日高川町の特産物を求めて訪れています。

農業、林業等の振興対策に力を入れ、さらに活力あるふるさと作りをみんなで進めていきたいものです。

第2回定例議会における一般質問は14名が登壇し、2日間にわたり活発な質疑が交わされました。

新生日高川町には、合併後も解決し

なければならぬ課題がたくさんあります。議会と執行部が知恵をしばり取り組まなければなりません。

旧中津村で計画された町づくり総合支援事業は日高川町に引き継がれましたが、議論をよんでいます。特に地域交流センターの建設内容や、規模・工事計画額で問題提起されました。

日高川町過疎地域自立促進計画も提案されました。

12月定例議会でも、多くの問題提起が出されると思いますので、ぜひ傍聴にお越し下さい。